



IISORA 第13回シンポジウム

被災後15年、被害の継続と長期的復興再生に向けて

主催 飯舘村放射能エコロジー研究会 (IISORA)
共催 NPO法人エコロジー・アーキスケープ

日時：2026年3月14日（土）13時00分～16時30分

場所：福島県青少年会館（福島市黒岩字田部屋53番5号、最寄り駅：南福島駅）

2011年3月の東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所のメルトダウン、爆発により広大な地域が放射能汚染されて15年経過。復興事業が声高に叫ばれ実施されてはいるものの、汚染された古里の森、川は放置されたまま。豊かな自然とのふれあい、採取、暮らしは遮断され、相互扶助も削がれたまま。厳しい汚染実態、被ばくのリスクを的確に回避しつつ、どう長期的な復興再生を図るかが地域自治、国の政治でも問われている。

参加費：無料 どなたでもお気軽に申し込みなしで参加いただけます。
オンライン中継予定（IISORAのHPにお知らせ予定）

プログラム

挨拶 今中哲二（IISORA）
総合司会 佐久間淳子（IISORA）

1部 被災者の部（題は仮）

菅野 哲（飯舘村人）「謝れ！償え！かえせふるさと飯舘村」訴訟結果と長期復興に向けて
伊藤延由（飯舘村人）里山の汚染を測って15年
市澤美由紀（飯舘村人）怒りから暮らしの再生
今野秀則（浪江町津島地区民）ふるさとを返せ！津島原発訴訟

2部 専門家の部（題は仮）

今中哲二（IISORA）放射能汚染のこれまでとこれから
青木一政（ちくりん舎）高濃度汚染地域におけるセシウム粉塵吸入の状況と危険性
天野 光（いわき放射能市民測定室たらちねベータラボアドバイザー）
アルプス処理汚染水の海洋放出とトリチウム等に関するいくつかのトピックス
振津かつみ（IISORA）原発事故被害から健康と暮らしを守る
糸長浩司（IISORA）未来への責任、長期的復興再生のシナリオ

3部 総合討議 40分

司会 糸長浩司
登壇者 発表者全員、会場との討論

まとめ 菅井益郎（IISORA） 10分

★交流会 17時半から19時半、[福島県青少年会館内『みなふく食堂』](#)
(参加される方は3月9日（月）までに、iisoraisp@gmail.comへ連絡願います)

協力団体

原子力市民委員会、原子力資料情報室、原発事故被害者相双の会、国際環境NGO FoE Japan、市民エネルギー研究所、日本環境会議(JEC)、日本大学生物資源科学部内ヶ崎万蔵研究室、高木仁三郎市民科学基金、ちくりん舎、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西、「ふるさとを返せ！津島原発訴訟」原告団、BIOCITY、ふえみん婦人民主クラブ、福島の子どもたちとともに・湘南の会、福島原発事故被害から健康と暮らしを守る会

IISORA URL：<http://iitate-sora.net/>、お問い合わせ／tel：090-6601-6786 [email：iisoraisp@gmail.com](mailto:iisoraisp@gmail.com)